

楽しかったこと、悲しかったこと、思い出、地域のできごと、イラストやマンガ、エッセイ、サークルのお誘い、趣味や宝物、広報へのご意見・ご感想などどしどしお寄せください。あなたの住所、名前、年齢、電話番号も忘れずに。投稿された人には、記念品を差し上げます。

鞍手JFC体験者募集

●鞍手JFC

サッカーを通じて、心身の発育発達が進めざましい幼稚園や小学校低学年の、子どもたちを対象にスポーツの素晴らしさを体感してもらう普及活動を行っています。



- 男女クラブ員を随時募集中 ▽とき(水・金) ▮午後5時30分から8時 ▽とき(土・日) ▮午前9時から正午まで▽ところ ▮町民グラウンド
- 問い合わせ 鞍手JFC代表兼監督 月成聡 ☎(090) 6632局 5575番まで

消防鞍手出張所の救急車が更新されました

●直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部 鞍手出張所

令和3年1月29日、鞍手出張所の救急車が更新されました。

新しい救急車は、以前の救急車と比べて外観が異なり、走行中の揺れも軽減され、安定性が増しました。さらに、車内の患者スペースも広くなり、装備ともに最新式となりました。

また、機械による心臓マッサージと人工呼吸の両方が同時に行える「クローパー(自動心肺蘇生器)」が搭載されました。これにより、救急隊が行うよりも確実に迅速な処置を行うことができます。

アフリカへ毛布を送る運動にご協力ください

●明るい社会づくり運動推進協議会直轄支部

明るい社会づくり運動推進協議会では、自然災害、社会情勢により苦しむアフリカ諸国の人たちに毛布を送る運動を行っています。皆さんのご協力をお待ちしています(毛布の輸送料がかかっています。毛布でなく輸送料の負担でも可)。事前にご連絡をいただければ、詳しい内容をご説明します。

- 収集期間 5月31日(月)まで
- 注意点 破れた毛布、綿毛布、ベビー毛布、こたつ布団は送ることができません
- 問い合わせ 明るい社会づくり運動推進協議会 ☎42局7757番まで

今後も一人でも多くの「命」を救えるように、救急車と装備をもとに有効活用し、所員一丸となって努力していきます。

- 問い合わせ 鞍手出張所 ☎42局4541番まで



広報ぎやらりー

すてきな作品をお待ちしています

ねんど細工や絵、書、紙細工、陶芸、俳句、短歌など自慢の一品は、ありませんか。「広報ぎやらりー」では、紙面を彩るあなたの作品をお待ちしています。作品についての100字以内の感想もお願いします。役場政策推進課 ☎42局2111番まで、ご連絡ください。

リフォーム 藤崎恒子さん

大島紬でコートドレスを作りました。季節とわす着られます。



粘土 森 恵津子さん (新北)



石粉粘土で、赤いバスケットを作成しました。平編み込みですので、着色に苦心しました。(縦22cm、横38cm)

リフォーム 早川順子さん

デザインが決まるまで、時間がかかりました。



Health

ADVICE



介護保険を使いたいのですが、どうしたらいいですか？ (80歳・女性)

手続きはいろいろ

町内に住民票のある人は、役場福祉人権課高齢者支援係で手続きをしていただきます。手続きをする前にかかりつけ医にもお伝え下さい。

手続きに 持っていくものは？

介護保険被保険者証(水色)が必要です。もし、紛失している場合には、印かんも必要です。

自分で行けない場合や 家族に頼めない場合は？

次の事業者は、本人や家族の代わりに、役場に申請することができます。

- ① 鞍手町地域包括支援センター ☎43局3019番
- ② やすらぎ園在宅介護支援セ

ンター ☎42局6988番
③ りんごケアプランセンター
☎43局3000番

④ ケアプランセンター野いち
☎42局2140番

⑤ くらて病院ケアプランセン
ター ☎42局2321番

申請した後の流れは？

介護保険広域連合から認定調査員が、ご本人の心身の状況を聞き取るために、自宅や病院を訪問します。

訪問調査と主治医の意見書により審査判定が行われ、後日、認定結果が届きます。

結果が届いたらどのような にしたらいいの？

要支援1・2の人は鞍手町地域包括支援センター、要介護1・5の人は居宅介護支援事業

所(ケアマネジャーがいる事業所)にご相談ください。

要介護の認定結果とともに、相談できる事業所の連絡先一覧が同封されています。

ケアマネジャーって 何をしてくれる人？

ケアマネジャー(ケアマネ)

介護支援専門員)は、利用者や家族の意向に沿って、身体状況、生活状況、住まいの環境などを考慮し、一人一人にあった「ケアプラン」を作成し、デイケア、デイサービス、訪問看護、ヘルパーの利用、ベッドや車椅子を借りるなどのサービス利用の援助を行います。

また、日頃の介護サービスに関する質問やサービス変更、施設入所の相談等にも応じています。

まとめ

介護サービスは、利用者が望んでいる自立した生活を支えるためのものです。手続きをすることで、利用者の皆さんの生活を支援することができます。



【アドバイザー】

原田真樹子・はらだまきこ・産業医科大学医療技術短期大学看護学科卒業後、産業医科大学病院勤務。平成12年介護保険制度開始から介護支援専門員として居宅介護支援事業所に勤務。平成29年より地方独立行政法人くらて病院ケアプランセンターに勤務。

介護保険を使うには役場で手続きが必要です。本人やご家族が申請できない場合は事業者が代理で手続きをすることができます。介護保険を使って、住み慣れた鞍手町でいつまでも、生活しましょう。



原田介護支援専門員の

くらて病院スタッフ
からの健康
アドバイスです

調子はいかが？

くらて病院 ☎42局1231番

